

令和 8 年 1 月 10 日

門信徒 各位

潮見寺門信徒会 会長 平国寛己

しゃかねはんえ

## 春の永代経法要・釈迦涅槃会法要ご案内

寒い日が続いますが、皆様方にはお変わりなくご健勝のことと存じます。

さて、下記の通り標記のご法要が勤修されます。永代経法要は、お互いの身近な先祖様を、そしてお釈迦様を菩提寺に於いて一同に集い、永代にご法要を勤修いたすものです。私たち門信徒にとって、欠かすことのできない大切なご法要です。仏様のお慈悲に遭い、肉親・知人の弔いをする中で、仏様のお話を聞かせて戴きましょう。

尚、感染症対策として、参拝の際はマスク・手指消毒を推奨いたします。宜しくお願ひ致します。

### 記

1.と き 令和 8 年 2 月 21 日（土）午後 1 時から

2.おつとめ 無量寿経作法

3.ご講師 岡野 龍信 先生（祁答院組 本龍寺 住職）

4.おとき ご参詣の皆様、ご仏飯ですので全員お受けください。

5.その他 ご先祖様（還淨された方）個々に永代経懸志をいたすことにより、  
永代に亡き方にご供養しましょう。

---

❖ “月のことば”を配布します。

❖ 法要前の掃除・準備を法要当日 2 月 21 日 8 時より行います。お手伝い頂ける方は、よろしくお願ひします。お聴聞させて頂くみんなでご法要を作りましょう。

❖ 春の彼岸法要の予告：3 月 21 日（土）午後 1 時から。

ご講師：北畠 護 先生（鹿児島別院 伊敷出張所 所長）

## **伝道 「なむあみだぶつ」を訪ねませんか？ 馬場俊基 から抜粋**

親鸞聖人は『歎異抄』の中で「念佛したら地獄へ行くか極楽に行くかよくわからない。けれど私は念佛します」とおっしゃっていますが、「念佛はすばらしいものだから、君たちも安心して念佛すればいいのです」と勧めてはおられません。「念佛するかしないか、自分で決めなさい」と親鸞聖人はおっしゃっています。念佛したら極楽へ往生できるか地獄に墮ちるかわからないけれども、念佛申すことはやめない。このことだけは揺らぎません。親鸞聖人が教えてくださった浄土真宗は、こういう勧め方をする教えなのです。

南無阿弥陀仏の名号を届けるはたらき担う存在を、親鸞聖人は諸仏と呼んでおります。名号を届けるはたらきを担う諸仏はあちこちにいます。数えきれないぐらいあります。気がついていますか。私たちのところにも名号が届いていますでしょう。具体的に言えば、皆さんのおじいさんおばあさんや隣近所の人たちの中に、念佛申す人たちがいませんでしたでしょうか。そういう人たちは皆さん、諸仏のはたらきを担っていた人たちだったのです。

浄土からの招待状が届いたら、それを受け取るにはどうしたらいいか。宅配便ならサインしたりハンコを押したりするわけです。念佛を受け取った人は「南無阿弥陀仏」と一度お念佛をするだけです。それで招待状の受け取り完了です。それだけで浄土に往生して成仏する。こういう仕組みができ上がったのです。この方法があるから、一度でも念佛した者は必ず浄土に迎え入れられる。その人が浄土に往生できないようであったら、私が責任を取りますというのが法蔵菩薩の本願、すなわち第十八願に願われている仕組みなのです。

ねてもさめても、いのちのあらんかぎりは、称名念佛すべきものなり。(御文 章 末代無智章)

## **悲願 アメリカ開教秘話 松浦忍**

「仏教とは如何なる宗教ですか。」

「仏の教えを信じる宗教です。」

「いかにして救われますか。」

「南無阿弥陀仏のお念佛一つで救われます」

「いかなる者が救うわれますか。」

「善人も悪人も、一切衆生みな救われます。」

「悔い改めなければ救われないのでしょう。」

「いいえ、み仏の慈悲にすがり、み名を称えれば、そのまま救われるのです。」

「どこへ行くのですか。」

「お浄土です。」

「善人も悪人も一緒にこのまま救われるのでは、この世と同じくあらそいが絶えないではないか。」

「皆、仏と同体にしていただくのです。実にもったいない有難いみ教えです。」